



- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書き取りには熱心に取り組み、形を整えて書くことができる。</li> <li>・板書や教科書の視写などは、素早く書き写すことができる。</li> <li>・教師の発問内容を理解できず、教科書から目に付いた言葉を話すことが多い。</li> </ul> |
|--|

## (2) 教材について

5年生の教材文「天気を予想する」は、最初に文章全体を覆う大きな問いがあるのではなく、小さな問いがあって答えがある、すると次の問いが生まれるということを3回繰り返す構成になっている。したがって、少々長い文章ではあるが、既習事項を使って段落相互の関係を捉えることができると思われる。また、表やグラフなどを用いながら事実を説明している部分、筆者の考えを述べている部分などが捉えやすい。それらの関係を捉え、全体として筆者が読者に何を望んでいるのかを読むことが要旨を捉えることになる。児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている。天気を予想する方法を知ること、科学技術の進歩が生活にもたらすよさを理解することができる。後半、科学技術の進歩によっても予測しづらい現象があることが明かされる。身の回りの自然と人間の関わりをもう一度確かめることのできる教材である。

6年生の教材文「生き物はつながりの中に」は、「話題提示」→「三つの事例」→「まとめ・筆者の考え」という尾括型の文章になっており、児童にとってわかりやすい文章構成である。冒頭の段落でロボットと本物の犬について「その違いを考えながら、生き物の特徴を探ってみましょう」と具体的に話題を提示し、呼吸や食事、成長、生命のつながりなど三つの例を挙げて「生き物の特徴」を説明し、それらを一旦、「つながり」というキーワードでまとめている。そして、最後の段落で改めて自分の主張を丁寧にまとめ、読者に訴えかけている。筆者の主張については、児童が自分の知識や経験と関連づけて共感したり疑問を持ったりすることができ、自分の考えを広げたり深めたりすることに適している。

## (3) 指導にあたって

本学習グループは、5・6年の児童で学習を行っている。それぞれの学年の教科書の内容を中心に、複式の形態で学習を進めている。5年生の3人は、国語の学力は同程度であることから同内容を一緒に学習している。

5年生の一次では、天気や天気予報について、自分が知っていることを話し合う活動を行ったり、写真や映像を見せたりしながら、学習に興味を持てるようにしたい。音読は、漢字にルビをふり、自分で音読できるようにしたい。教材をしっかりと読みこなしの上で学習に入れるように、音読を事前の家庭学習に取り入れたい。二次の筆者の設定した三つの問いと答えを見つける学習では、学習の進め方をパターン化したり、個の実態に応じたワークシートを作成して活用したりすることで、文章の構造や筆者のいいたいことをまとめられるようにしたい。筆者が伝えたいことを補強する役割を果たすのが、グラフや表である。示し方によって印象が変わることや、伝えたいことが十分伝わらないことがあることを確認したい。言葉の意味理解が難しいと思われるので、映像や写真などを活用し、具体的にイメージを持たせながら理解を深められるよう配慮していきたい。三次では、新聞や本などの身近なものから、図・表・グラフ・写真が使われた文章をさがし、これらの資料の意図や効果について考えていきたい。

6年生の一次では、日頃の食事のことを取り上げ、どんなものを食べているか考えたり、児童が自宅で飼っている猫のことを話題にしたりしながら、本文に興味を持てるようにしたい。二次では、キーワードに着目したり、学習の進め方をパターン化したり、個の実態に応じたワークシートを作成して活用したりすることで、三つの生き物の特徴をとらえられるようにしたい。三次では、筆者の主張をまとめ、自分の考えを書く活動に取り組む。自分の考えを書くことに対して苦手意識をもっているところもあるので、文型や書き出

しの言葉、文末の言葉を与えるなどの支援をしていきたい。自分の考えをまとめたら、5年生を相手に発表する機会を設け、大きな声ではっきりと、自分の考えを伝えられるようにしたい。

#### 4 単元の見目標

5年生

- 図表・グラフ・写真を用いた説明文に関心をもち、興味をもって読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- 筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取ることができる。(読むこと)
- 筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。(読むこと)
- 文にはいろいろな構成があることに気づくことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

6年生

- 筆者の問いかけに関心をもち、文章を読み、それに対する自分の考えをもととする。(関心・意欲・態度)
- 文章の構成や表現に注意して、自分の考えをもちながら筆者の考えを読み取ることができる。(読むこと)
- 文にはいろいろな構成があることに気づくことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

#### 5 指導計画

5年生全7時間 ※通常学級では6時間

次	時	学習活動	指導の手立て ☆評価
つかむ (第一次)	1	・学習計画を立てて学習の見通しをもち、興味を持ったことや初めて知ったことについて感想を書く。	・天気や天気予報について、自分の経験を話し合い、興味をもって文章を読めるようにする。 ・問いの文が多数あることに目を向ける。 ☆「天気を予想する」を読み、感想を持つようとしている。 (発言・ワークシート)
	2	・一つ目の問いについて、事実と筆者の考えを整理しながら、答えをまとめる。	・「問い」の文と「答え」の文の見つけ方を確認する。 ・図表や写真があることの意味を考える。 ☆一つ目の問いについて答えをまとめることができている。 (ワークシート)
わかる (第二次)	3 (本時)	・二つ目の問いについて、事実と筆者の考えを整理しながら、答えをまとめる。	・映像や写真などを活用し、具体的にイメージを持たせながら理解を深められるようにする。 ☆二つ目の問いについて答えをまとめることができている。 (ワークシート)
	4	・三つ目の問いについて、事実と筆者の考えを整理しながら、答えをまとめる。	・写真を使っている意味を考える。 ☆三つ目の問いについて答えをまとめることができている。 (ワークシート)
	5	・筆者が図表・グラフ・写真を使う意図やそれらが読者に与える効果について考える。 ・数値の効果について考える。	・図表・グラフ・写真がなかったら、読み手はどう感じるのかを考える。 ☆表・写真・図・グラフや数値の使い方について、筆者の意図やその効果に気づいている。 (発言・ワークシート)
	6	・筆者が伝えたいことをまとめる。	・筆者の考えが書かれている段落に目を向ける。 ☆筆者が伝えたいことをまとめている。 (ワークシート)

活かす (第二次)	7	・新聞や本などから、図表・グラフ・写真が使われた文章を探し、それらの資料の意図や効果についてまとめる。	・身近な文章にも、読み手が分かりやすいように様々な資料が使われていることに目を向ける。 ☆図表・グラフ・写真を使った説明の効果に気づき、まとめている。(発言・ワークシート)
--------------	---	---	---

6年生全6時間 ※通常学級では5時間

次	時	学習活動	指導の手立て ☆評価
つかむ (第一次)	1	・学習計画を立てて学習の見通しをもち、本文を読んで興味を持ったことや初めて知ったことについて感想を書く。	・日頃の食事のことを取り上げ、どんなものを食べているか考えたり、児童が自宅で飼っている猫のことを話題にしたりしながら、本文に興味を持てるようにする。 ☆「生き物はつながりの中に」を読み、感想を持つとしている。(発言・ワークシート)
わかる (第二次)	2	・文章全体をはじめ・中・終わりの三つに分け、どんな問題が提起されているのかを読み取る。	・はじめ・中・終わりでどんなことが書かれているのか確認する。 ☆文章全体をはじめ・中・終わりの三つに分けている。(ワークシート) ☆どんな問題が提起されているのかを読み取っている。(ワークシート)
	3	・一つ目の生き物の特徴について、読み取る。	・「生き物の特徴」という言葉に着目し、生き物の特徴がまとめてある一文を探す。 ☆一つ目の生き物の特徴についてまとめている。(ワークシート)
	4 (本時)	・二つ目・三つ目の生き物の特徴について、読み取る。	・「生き物の特徴」という言葉に着目し、生き物の特徴がまとめてある一文を探す。 ・対比の効果について確認する。 ☆二つ目・三つ目の生き物の特徴についてまとめている。(ワークシート)
	5	・筆者の主張を読み取り、まとめる。 ・筆者が自分の考えを伝えるために、どんな工夫をしているか考える。	・「あなた」という表現や呼びかけの表現をしていることに目を向ける。 ☆筆者が伝えたいことを読み取り、まとめている。(ワークシート)
活かす (第二次)	6	・筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。	・筆者の主張に対する感想をもとに、自分の考えをまとめ、文章を書くようにする。 ☆筆者の考えに対する自分の考えをもっている。(発言・ワークシート)

6 本時の指導

5年(3/7時間) 6年(4/6時間)

(1) 目標 (別紙)

(2) 展開 (別紙)

(3) 板書計画  
5年

天気予想する

課題

二つ目の問いを見つけて、答えと理由をまとめよう。

サイドライン  
問い・・・赤      答え・・・青

問いの文  
では、さらに科学技術が進歩し、国際的な協力が進めば、天気予報は百パーセント的中するようになるのでしょうか。

答えの文  
それはかなりむずかしいというのが、現在のわたしの考えです。  
なぜむずかしいの？  
天気予想をむずかしくしている要因(理由)

①突発的な天気の変化

グラフ

短い時間に急速に発達する積乱雲がもたらすものも多く、正確に予想するのはむずかしいから。

②局地的な天気の変化

写真

広いはんいの風や雲の動きは分かってても、せまいはんいでは予想するのは簡単ではないから。

6年

生き物はつながりの中に

課題

生き物の持ちようを読み取ろう。

生き物の持ちよう①(形式段落②・③)  
生き物 食べた物が自分の一部になる。  
ロボット 電池が一部になることはない。

外から取り入れたものが自分の一部になる、そのようなつながり方で外とつながっている。

生き物の持ちよう②(形式段落④)  
生き物 身長・体重・考えることが変わる。  
ロボット 変化や成長はしない。

変化・成長しながら、一つの個体として時間をこえてつながっている。

生き物の持ちよう③(形式段落⑤)  
生き物 生き物から生まれ、子孫を残すことができる。  
ロボット だれかが組み立てた物。子孫は残せない。

過去や未来の生き物たちとつながっている。

ロボットと本物の犬(生き物)を比べることで生き物の持ちようがはつきりする。↑対比

(4) 座席表



